



イモ掘り交流学习の成果を喜ぶ児童と女生徒

イモ掘りに小学生招く

佐世保
女子高

52人、貴重な体験喜ぶ

佐世保市比良町の私立久田学園佐世保女子高校（久田順子校長）は十二日、近くの大久保小学校（小淵禎彦校長、児童三百七十六人）の一年生五十二人を校内のイモ畑に招待、女生徒と子供たちが一緒にイモ掘りを楽しんだ。

同学園は校舎の裏山に約千平方メートルのイモ畑を持ち、勤労体験学習の一環として、週一回、作業に励んでいる。

イモ掘り交流は、子供たちに最近ではなかなかにできないイモ掘りを楽しませながら、

弟妹のような小学生との交流を通じ、同校の生徒にもやさしい心をほぐさせようというもの。

女生徒六十人が大久保小まで迎えに行き、一年生の手を引いてイモ畑へ。子供たちは小さなスコップを手に、お姉さんたちと一緒にイモを掘り、さつそく、ふかしてもらってほおばっていた。

小学生が腸チフス

西彼杵郡時津町の小学四年生の女兒（一）が十二日、腸チ